



橋北小学校
学校だより
No.6
H26.6.18

不審者と思ったら・・・「いかのおすし」

今年度は、市内で不審者による声掛け事案が多くなっています。市の青少年育成室へ6月13日で、32件の情報が寄せられているようです。昨年度は1年間で72件ということから見れば、2か月半で昨年度の4割を超えています。先月にも「すぐメール」で本校区に隣接する地域での不審者情報が送られたところです。

学校では機会をとらえ、防犯に向けた安全指導として「いかのおすし」の指導をしています。

- 1 知らない人についていかない。
 - 2 知らない人の車にはのらない。
 - 3 危険な目にあいそうになったら、おお声を出して助けをよぶ。
 - 4 こわい目にあったら（あいそうになったら）、すぐに逃げる。
 - 5 何かあったら、すぐにおとなの人にしらせる。
- ※ 1～5で「いか・の・お・す・し」と覚えます。

- 6 危ない場所に近寄らない。
（危ない場所の例 管理人のいない駐車場や空き地、空き家や工事現場、高架下や屋上、高い塀や植木に囲まれたところ、人通りの少ない公園や道路、街灯や防犯灯がない道路など）
- 7 防犯笛や防犯ブザー等を携帯しよう。

ご家庭でも、折に触れてこのことをご指導していただくようお願いします。

なお、「すぐメール」に登録されていない保護者の方や、携帯電話のアドレスを変更された保護者の方がおられましたら、学校（担任または教頭）まで問い合わせください。

筆で字を書くのは難しい！でもなんだかおもしろいよ

（初めての毛筆：3年生の書写）



3年生は、毛筆で字を書く書写の学習が始まります。みなさんは、初めて墨と筆で字を書いた頃の感覚を覚えておられるでしょうか。筆の弾力を操るのはなかなか難しいものです。しかし、毛筆で字を書くことは、文字のことがわかるにはとても有効な面があります。筆では点画を大きく書きます。このことを通じて文字に対する理解を深め、それを硬筆に生かして文字を正しく書くことが出来るようになります。

3年生では、書く姿勢、用具の置き方、筆の持ち方などを確かめた後、文字として、まず「一・二」を書きます。横画、すなわち横の線を書く学習です。

- 書き始めは、穂先の向きに気を付けて筆をゆっくり下ろす。
- 筆の軸を回さずに、やや右上がりに筆圧をゆるめないで筆を運ぶ。
- 筆を止めてから、穂先の方へ押し戻すようにしてゆっくり筆を上げて書き終わる。

一本の線を書くにも、筆をつかうのはなかなか難しいものです。筆で文字を書くといった感覚は、そう簡単には会得できませんが、何回も書くなかで筆づかいの感じがわかるようになります。

この学習の後、次のような基礎の学習を一つ一つ進めていきます。

「一・二」	横画	「下」	縦画と点	「日」	折れ
「大」	はらい	「小」	はね	「つり」	曲がり

いくらパソコンや携帯電話が普及しても、「字を書く」ことの能力は大切です。あらゆる文字を正しく整えて書くことができる方法がしっかり身につけることができるようめざします。

しっかり磨いてミュータンス菌を追い出そう(1年生:歯磨きの勉強)

先月にあった歯科検診でお子さんにはむし歯はありませんでしたか。もしあれば、できるだけ早く治療するようにしてください。そして、なによりもむし歯にならないようにすることが大切です。むし歯にならないようにどうするか。子どもたちは知っているはずで

す。6月10日に1年生がむし歯予防のための「歯磨き」の勉強をしました。

- はみがきをしてもむし歯ができる。それは、きちんとみがけていないため。
- 食べかすはむし歯菌（ミュータンス菌）のえさとなって、菌がどんどん増えてしまう。
- 食べかすがたまりやすい（汚れやすい）ところ知ろう。
- ぶくぶくうがいでだけではきれいにとれない。
- 汚れがきれいにとれる歯磨きの仕方を知ろう。
- 実際に歯磨きをしてみる。鏡で確かめよう。
- 知るだけではだめ。歯磨き習慣をつけることが、むし歯予防には大切。



子どもの中には、既に歯磨きの習慣が出来ている子どももありますが、時々しっかり磨けているかどうか家族が確かめていただくと意識して磨くようになると思います。

家族で確かめあって、80歳になっても20本以上の歯を保とうという「8020（はちまるにいます）」を目標にしましょう。（ちなみに残っている歯の本数は60歳から急激に減るという統計もあるようです。）

子どもの時から、ミュータンス菌のえさをしっかり取る歯磨きの方法を知り、習慣にすることを進めたいものです。

がんばった落語公演・・・6年生が小噺・お囃子に挑戦

前号でお知らせしましたように、16日は落語の本公演でした。生徒小噺^{こばなし}では、6年生3人が小噺、同じく3人がお囃子^{はやし}の太鼓をそれぞれ和服の衣装に身を包み見事にやりました。練習も一生懸命にやったのでしょう。5月のワークショップの時よりはるかに上達していて感心しました。

また、プロの落語家の話しぶり、曲芸師の方の芸はやはり見事でした。最後の笑福亭学光さんの落語や人形を使った腹話術では会場が大爆笑。子どもたちやこの公演を見に来ていただいた方々の笑い声、笑う表情はとびっきりよかったです。

そして、最後の言葉が心に残りました。「落語の笑いには、人をいじめたり、きずつけたりする笑いはありません。」



落語公演に出演した6人の6年生
終わって感想をきかれています。

6月23日(月)は、緊急時児童引き渡し訓練です。

よろしくお願いします。詳しくは6月6日付のお知らせをご覧ください。